

令和元(2019)年度 宮城県

生活支援コーディネーター (地域支え合い推進員) 養成研修



主催：宮城県

運営：全国コミュニティライフサポートセンター(CLC)

受講対象

地域支え合いに
関心のある方
どなたでも

**受講料
無料**

令和元年度宮城県生活支援コーディネーター養成研修は
ご要望におこたえして、県内5つの地域で開催します。

■ 仙台

■ 気仙沼地域

■ 東部地域

■ 仙南地域

■ 北部地域

お近くの会場でご参加ください!

(北部地域では研修1-2以降は
来年度開催いたします)

宮城県生活支援コーディネーター養成研修の目指すもの

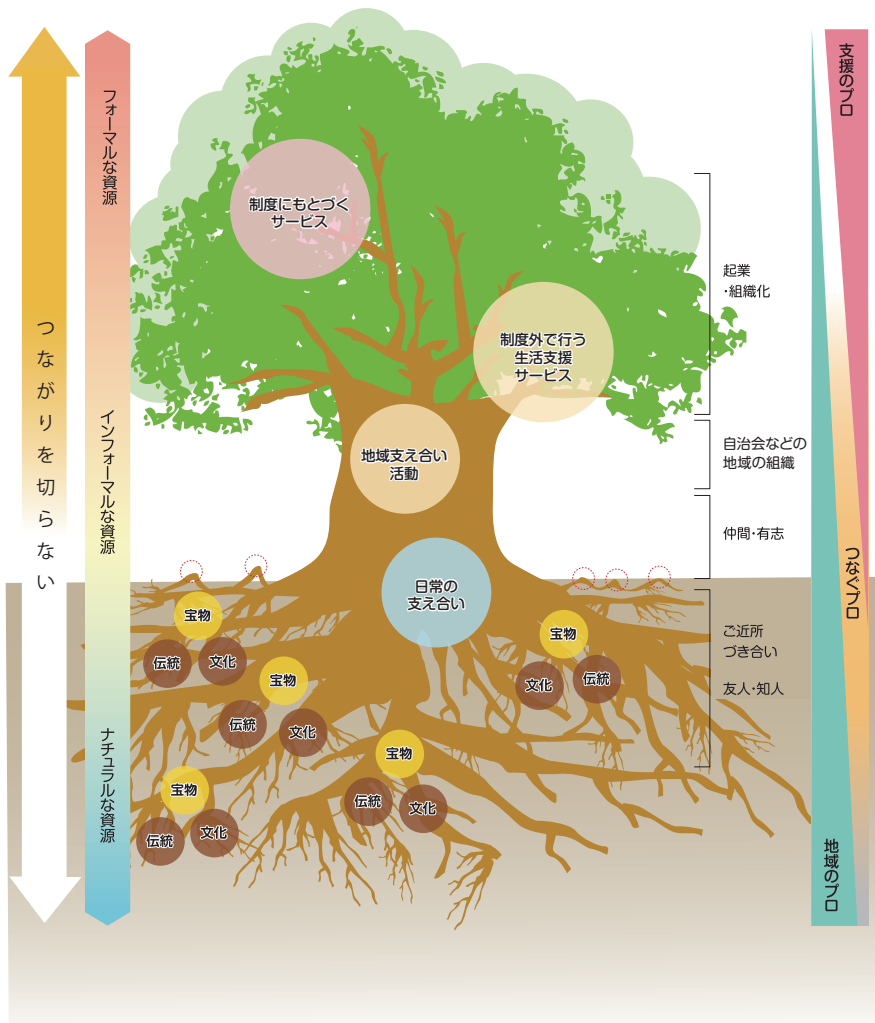
○医療・介護のサービスが充実しただけでは、365日地域で暮らし続けることは容易ではありません。介護が必要になる前から地域で気かけ合い・見守り合い・支え合うことが重要です。

○そこで 2015 年に介護保険制度が改正され、新しい総合事業と生活支援体制整備事業のもと、誰もが暮らしやすい地域づくりを推進する「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」と「協議体」という仕組みが誕生しました。

○介護保険サービスとご近所とのつながり（「地域づくりの木（下図）」における「日常の支え合い」や「地域支え合い活動」。これを宮城県では「地域のお宝」と呼ぶ）の両方をうまく組み合わせ、上手に地域で暮らす「地域づくり」を目指します。

○宮城県では、生活支援コーディネーターの任にあたる方に加え、生活支援コーディネーターと協働する住民や専門職、生活支援コーディネーター業務を受託する法人の管理者並びに専門職、生活支援サービスの体制整備（生活支援コーディネーターと協議体）を担当する行政職員などが一緒に受講して、チームで暮らしやすい体制づくりを目指す研修として開催しています。

「地域づくりの木」



どなたでも
受講できます

受講料無料

生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）、協議体メンバー、地域の住民、自治会・町内会・行政区・まちづくり協議会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、老人クラブなどの地縁組織、行政、地域包括支援センター、市町村社会福祉協議会、ボランティア・NPO団体などの関係者



令和元（2019）年度 宮城県生活支援コーディネーター養成研修 体系図

<基本研修>

受講必須

詳細はP4～7へ

<実践講座>

受講選択

研修1受講修了者対象

詳細はP6～10へ

地域での支え合いの理解

【研修1】 半日 →P4

初級研修

受講選択

・地域福祉業務未経験者
・各種国家資格未取得者

【研修1-2】 2日間 →P5

「地域福祉コーディネート基礎・実践研修」受講のための事前研修

受講必須

【研修2】 2日間 →P5

地域福祉コーディネート基礎・実践研修

受講選択

・地域福祉業務経験者
・専門職

【研修2-2】 2日間 →P6

地域福祉コーディネート
中堅研修

受講必須

【研修3】 2日間 →P7

生活支援コーディネート基礎・実践研修

コミュニティワークの理解

協議体と生活支援
コーディネーターの理解

【講座1-1】 1日 →P6

地域支え合いの発見の仕方
～かくれた資源を見つけ出せ～

【講座1-2】 1日 →P6～7

地域支え合いの伝え方
～見つけた資源を伝えよう～

【講座1-3】 1日 →P7

地域支え合いの共有の仕方
～見つけた資源を知らせよう！
お宝発表会の持ち方～

受講選択

研修3受講修了者対象

【講座2】 1日 →P9

協議体運営の方法

【講座3】 1日 →P9

生活支援サービスの立ち上げと運営の方法

【講座4】 1日 →P10

地域支え合い活動実践研修

- ① 福島県福島市編
- ② 鹿児島県肝付町編
- ③ 宮城県女川町編

<受講対象者限定>

詳細はP11へ

【対象者限定1】 半日 →P11

生活支援体制整備事業に関わる自治体職員研修

【対象者限定2】 1日 →P11

地域包括支援センター職員と介護支援専門員研修

【対象者限定3】 1日 →P11

生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）研修



生活支援コーディネーター養成研修 受講ガイド

生活支援コーディネーター養成研修は、5つの地域で開催します。
このご案内では以下のように、それぞれの会場名の前に記載の■印で色分けしています。

■**仙台** ■**気仙沼地域** ■**東部地域** ■**仙南地域** ■**北部地域**

一連の研修・講座は、できるだけ同じ地域の会場でご参加ください。

受講要件

- 1 基本研修を受講する方は、【研修1】【研修2】【研修3】を順に受講してください。
- 2 地域福祉業務の未経験者や各種国家資格の未取得者が【研修2】を受講する際は、その前に必ず【研修1-2】を受講してください。
- 3 【研修1】の修了者は【講座1-1、1-2、1-3】を受講できます。
- 4 【研修3】の修了者は【講座2、3、4】を受講できます。
- 5 申し込みは先着順で、定員を満了し次第締め切らせていただきます。
(生活支援コーディネーターの任にあたる方で受講を急ぐ方は、別途ご相談ください)

おもな講師

大坂 純氏

東北子ども福祉専門学院 副院長

高橋 誠一氏

東北福祉大学 総合マネジメント学部 教授

志水 田鶴子氏

仙台白百合女子大学 人間学部 准教授

池田 昌弘氏

全国コミュニティライフサポートセンター 理事長

<基本研修>

住民のみなさんの 受講モデル

住民と
同じ研修を
受講できます

1 町内会をモデルに実践開始！

高砂地区の民生・児童委員の研修で、全国各地で行われている孤立や孤独を防ぐ実践事例を伺いました。民生・児童委員の活動の意義や振り返りをしたいと考え、ほかの民生・児童委員とともに生活支援コーディネーター養成研修を受講しました。

この研修で学んだことを生かそうと、1町内会をモデルとして啓発しながら、町内の役員と一緒に地域づくりに向けた取り組みを少しずつ始めています。

受講者の
声



三浦 忍さん

(仙台市宮城野区・高砂第二地区民生委員児童委員協議会 会長)

ねらい

- 地域の支え合いとは？
- 生活支援コーディネーターと協議体とは？
- 誰もが暮らしやすい地域づくりをするには

- **利府会場** 6月24日(月) ペア・パル利府
- **仙台会場** 7月 1日(月) 宮城県管工事会館
- **石巻会場** 7月 3日(水) 石巻市総合福祉会館 みなと荘
- **丸森会場** 7月 4日(木) 館矢間まちづくりセンター
- **加美会場** 7月 8日(月) 宮崎公民館
- **柴田会場** 10月 2日(水) 柴田町地域福祉センター

講師 池田 昌弘氏

研修時間・定員 (全会場ともに)13:00~16:30 定員80人

【研修1】

初級研修

受講
必須

いまこそ支え合い！

専門職のみなさんの 受講モデル

受講モデルは一例です。体系図や受講要件をご参照のうえ、ご希望の研修を受講してください。

受講者の
声

社協ぐるみで受講！

高橋 吏佳さん

(南三陸町社会福祉協議会地域福祉係長)

南三陸町では、東日本大震災から復興10年を見据えた人材づくりのため、LSA(生活援助員)の仕事の経験を活かせる職種として生活支援コーディネーターが考えられました。昨年度までに20人が県の養成研修を修了。第1層・第2層生活支援コーディネーターとして活躍している人もいます。



半日研修

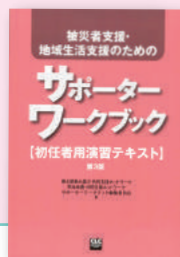
受講
選択

地域生活支援を知ろう

【研修1-2】

「地域福祉コーディネーター基礎・実践研修」
受講のための事前研修

2日間研修



ねらい

- 地域生活支援とは？
- 地域のつながりと制度・サービスのバランスを学ぶ
- 地域で暮らし続けるためには

■ 石巻会場 7月23日(火)～24日(水) 河北総合センタービッグバン

■ 仙台会場 8月 1日(木)～ 2日(金) エスポールみやぎ

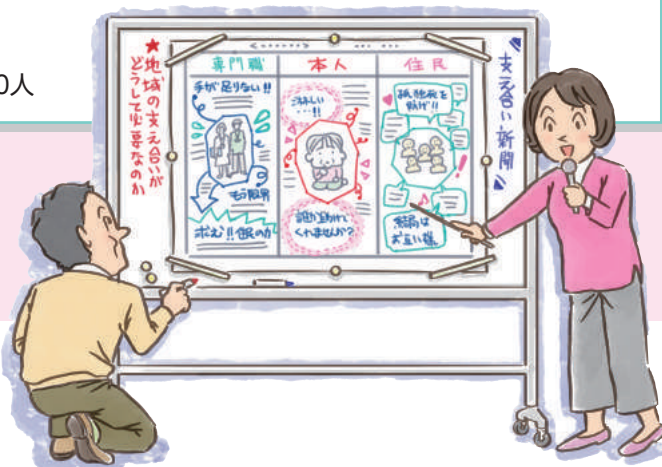
■ 柴田会場 10月30日(水)～31日(木) 柴田町地域福祉センター

講師 永坂 美晴 氏 兵庫県明石市社会福祉協議会 地域総合支援センター
地域支え合い推進担当係長

岩城 和志 氏 兵庫県淡路市社会福祉協議会 事務局次長

研修時間・定員

(両日)9:30～16:30 定員100人



専門職と
同じ研修を
受講できます

研修3へ

ねらい

- 地域や地域福祉を知ろう
- 生活支援コーディネーターの活動の基礎を学ぶ
- 住民主体の地域づくりがわかる

■ 気仙沼会場 6月 5日(水)～ 6日(木)
気仙沼市総合市民福祉センター「やすらぎ」

■ 仙台会場 9月17日(火)～18日(水)
宮城県管工事会館

■ 石巻会場 10月 3日(木)～ 4日(金)
河北総合センタービッグバン

■ 柴田会場 1月14日(火)～15日(水)
柴田町地域福祉センター

講師 <仙台会場>

藤井 博志 氏 関西学院大学 人間福祉学部 教授

井岡 仁志 氏 LOCALISM LAB. (ローカリズム・ラボ) 代表

<気仙沼・石巻・大河原会場>

永坂 美晴 氏 兵庫県明石市社会福祉協議会 地域総合支援センター
地域支え合い推進担当係長

山本 信也 氏 兵庫県宝塚市社会福祉協議会 地域支援部長

研修時間・定員 (両日)9:30～16:30 定員100人

受講者の
声

女性 20歳代 公益社団法人

用いられたビデオで、住民主体で行われる会議が非常に
多く紹介され、真の意味で「住民主体、の働きに驚いた。

受講
必須

地域福祉を学ぼう

【研修2】

地域福祉コーディネーター基礎・実践研修

2日間研修

研修2-2へ

地域にある支え合い「地域のお宝」を発見し、それを関係者に伝え、住む人に広く知らせて共有していくことは、誰もが暮らしやすい地域づくりをするためにたいせつなことです。実践講座1-1、1-2、1-3では、その具体的な方法について、実践的に学びます。地域の皆さまにも、生活支援コーディネーターとともに、ぜひ受講いただきたい講座です。

地域のお宝を見つけよう

【講座1-1】

地域支え合いの発見の仕方

くくられた資源を見つけ出せ



1日研修

ねらい

- 「地域のお宝」とは？
- 地域のつながりのたどり方
- 「地域のお宝」の見つけ方

■ 仙台会場	8月19日(月)
	仙都会館
■ 石巻会場	8月30日(金)
	河北総合センター ビッグバン
■ 大河原会場	11月22日(金)
	総合会館ララ・さくら

講師

大坂 純 氏〈仙台会場〉
池田 昌弘 氏〈仙台、石巻、大河原会場〉
木村 利浩 氏〈仙台、石巻、大河原会場〉
全国コミュニティライフサポートセンター
出版・開発グループ 地域支え合い推進プロジェクト
開発主査

研修時間・定員

〈仙台会場〉 9:30～16:30 定員60人
〈石巻、大河原会場〉 10:00～16:00 定員60人

地域のお宝を伝えよう

【講座1-2】

地域支え合いの伝え方

く見つけた資源を伝えよう

1日研修

※講座1-1、1-2、1-3は、実践講座となります。

受講 選択

地域福祉の展開

地域福祉業務経験者
および専門職対象

【研修2-2】

地域福祉コーディネート中堅研修

2日間研修

ねらい

- 事例をとおして地域福祉の理解を深める
- 協議の場のつくり方と進め方を学ぶ
- 住民・専門職が協働する体制づくりがわかる

■ 仙台会場 1月20日(月)～21日(火)
エスポールみやぎ

講師 藤井 博志 氏 関西学院大学 人間福祉学部 教授

浜上 章 氏 宮城県サポートセンター支援事務所 アドバイザー
兵庫県川西市社会福祉協議会 桜小地区福祉委員会 委員長

永坂 美晴 氏 兵庫県明石市社会福祉協議会
地域総合支援センター
地域支え合い推進担当係長

研修時間・定員 (両日)9:30～16:30 定員60人



研修・講座の受講後は

ねらい

- 発表会を通じて「地域のお宝」を共有しよう
- 「お宝発表会」に参加してみよう
- 自分の地域で発表会を開催するには

- 気仙沼会場 8月21日(水)
気仙沼市ワン・テン庁舎
- 石巻会場 11月20日(水)
河北総合センタービッグバン
- 大河原会場 2月18日(火)
仙南芸術文化センター(えずこホール)

講師

大坂 純 氏(石巻会場)
高橋 誠一 氏(気仙沼会場)
志水 田鶴子 氏(大河原会場)
池田 昌弘 氏(気仙沼、石巻、大河原会場)

研修時間・定員

10:00～16:00 定員60人

【講座1-3】

地域のお宝をみんなのものにお宝でつながろう

「見つけた資源を知らせよう！お宝発表会の持ち方」

1日研修

ねらい

- 「地域のお宝」の価値と魅力を伝えるには？
- もっと伝わる！写真、映像の生かし方
- 伝え方、広め方で「地域のお宝」が輝く

- 仙台会場 9月13日(金)
仙都会館
- 石巻会場 9月30日(月)
石巻商工会議所
- 大河原会場 12月17日(火)
大河原合同庁舎

講師

志水 田鶴子 氏(仙台会場)
池田 昌弘 氏(石巻、大河原会場)
橋本 泰典 氏(仙台、石巻、大河原会場)
全国コミュニティライフサポートセンター
出版・開発グループ 地域支え合い推進プロジェクト チーム長
木村 利浩 氏(仙台会場)
全国コミュニティライフサポートセンター
出版・開発グループ 地域支え合い推進プロジェクト 開発主査
田村 洋介 氏(仙台、石巻、大河原会場)
全国コミュニティライフサポートセンター
出版・開発グループ 地域支え合い推進プロジェクト 開発主査

研修時間・定員

(仙台会場) 9:30～16:30 定員60人
(石巻、大河原会場) 10:00～16:00 定員60人

ねらい

- 地域で生活支援体制整備事業を展開するには
- 「あるもの探し」からはじめる地域づくりを学ぶ
- 生活支援コーディネーターと協議体の機能・役割がわかる

- 気仙沼会場 9月5日(木)～6日(金)
気仙沼市本吉保健福祉センター「いこい」
- 仙台会場 10月17日(木)～18日(金)
仙都会館
- 石巻会場 12月2日(月)～3日(火)
石巻商工会議所
- 大河原会場 3月12日(木)～13日(金)
大河原合同庁舎

講師 大坂 純 氏(気仙沼、仙台、石巻会場) 高橋 誠一 氏(気仙沼、仙台、大河原会場)
志水 田鶴子 氏(気仙沼、仙台、大河原会場) 池田 昌弘 氏(気仙沼、仙台、石巻会場)

研修時間・定員 (両日)9:30～16:30 定員100人

受講必須

生活支援コーディネーターの基礎を学ぼう

【研修3】

生活支援コーディネーター基礎・実践研修

2日間研修

講座2以降の受講ができます

受講者の声

女性 50歳代 地域NPO

研修を受ける前はすごく固いイメージと、何かを地域でやらなければならぬと思っていたが、住民として住民のままで一緒に考えていくということがあった。

宮城県では、「研修3」までの受講をもって、生活支援コーディネーター養成研修の修了者として。研修3まで修了された方には、修了証書を発行します。

県内各地で 地域のお宝探しと発表会が開かれています！

地域のお宝探し講座

講座では、参加されたみなさんから
ふだんの暮らしぶりを教えてもらいます！



おすそ
分け



近所での
お茶飲み



仲間との
散歩

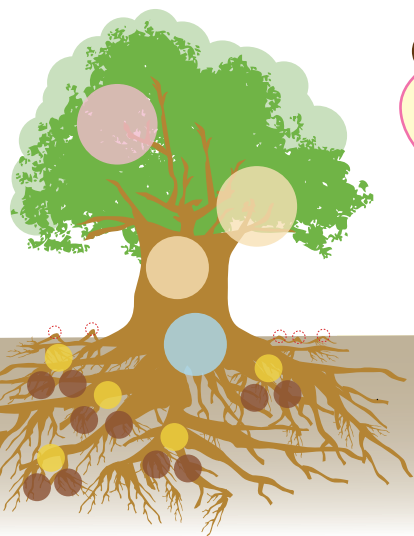


介護予防
体操や
サロン

ふだんの暮らしのなかの
つながりから、お互いを
気にかける関係が生まれ、
見守りやちょっとした手
助けなどが自然に行われ
ます。
これらを「地域のお宝」
と呼びます。

まずは、新しい活動やサービスをつくる前に
暮らしのなかにあるつながりの場など
すでにあるもの・できていることに目を向け、
そのつながりや支え合いが、
安心・安全に暮らせる地域の基盤となっている
ことをみんなで共有します。

フォーマルな資源
インフォーマルな資源
ナチヨルな資源



地域づくりの木 (P2 参照)

過去に開催した大和町および山元町での実践プロセスを
YouTube で見るができます



宮城県大和町発！
「宝物さがしから発表会までの
運営手法」を学ぶ！
「大和町 CLC」で検索



宮城県山元町発！
「宝物探しからはじめる
地域づくり実践ガイド」
「山元町 CLC」で検索

①

みんなで講座に
参加する

住民
+

生活支援コーディネーター
(地域支え合い推進員)
協議体メンバー
お宝探し実行委員会メンバー

②

ふだんの暮らし
にまぜてもらっ
て、取材させて
もらう



このような関係があるからこそ、
体力の衰えなどで、少々日常生活に不便が生じてきても
支え・支えられて暮らしていることが見えてきます！

③

「地域のお宝」を
見える化・見せる化
する

広報紙
パンフレット



④

み～んなで
共有する

地域のお宝発表会



ふだんの暮らしのなかのつながりは「地域づくりの木」の根っここの部分にあたります。「地域のお宝探しと発表会」をとおして根っここのたいせつさをみんなで共有します。根っこをたいせつにするということは、幹・枝葉が健やかに育つための、土づくりとも言えます！こうしたつながりを途切らせず、そのたいせつさを伝えみんなで育くむことが、支え合う地域づくりの第一歩です。

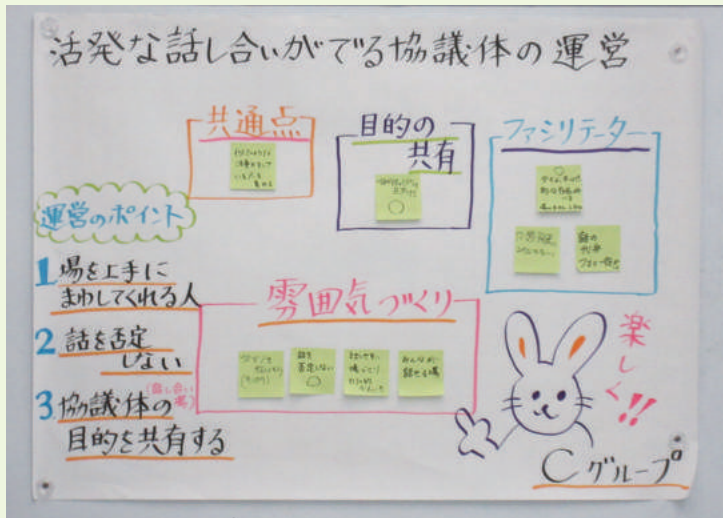
<実践講座>

実践講座は、養成研修（基本研修）の修了段階に応じて、具体的な活動をより実践的に、あるいは体験的に学ぶものです。

講座1-1、1-2、1-3は、P6～7をご覧ください。

ねらい

- 協議体とは何か？
- 地域が元気になる「協議の場」を学ぶ
- 協議体の作り方と進め方がわかる



■ 仙台会場
11月15日(金)

エスポールみやぎ

講師

佐藤 寿一氏
兵庫県宝塚市社会福祉協議会 常務理事
高橋 誠一氏
池田 昌弘氏

研修時間・定員

9:30～16:30 定員60人

受講者の声

男性 20歳代 行政
協議体を運営していくための手法や工夫についてグループで話し合うことで、情報を整理することができました。

【講座2】協議体運営の方法

地域の仲間で語り合おう

研修3受講修了者対象

1日研修

ねらい

- つながりを切らない生活支援サービスとは何か？
- 実践事例から学ぶ
- サービスをつくる際に配慮すべきことがわかる



■ 仙台会場
12月23日(月) エスポールみやぎ

講師

吉田 瑞穂氏
大分県中津市社会福祉協議会 地域福祉課 課長
高橋 誠一氏
池田 昌弘氏

研修時間・定員

9:30～16:30 定員60人

【講座3】

生活支援サービスの
立ち上げと運営の方法

生活支援サービスを学ぼう

1日研修

各地の取り組みから学ぼう

【講座4】地域支え合い活動実践研修

1日研修

生活支援体制整備事業

の取り組みについて、福島県福島市、鹿児島県肝付町、女川町の住民および専門職から直接話を聞き、住民主体の地域づくり、関係各機関の支援や連携のあり方を、ともに考える講座です。講座で得たヒントを自分の地域の実際の業務に活用することを目指し、演習や質疑応答で学びを深めます。

受講者の声

女性 20歳代 社会福祉協議会

行政と社協が共通の認識を持って地域づくりを進めていることがわかり、大変参考になりました。グループワークでは、みなさんの話から情報を得ることができてよかったです。(2018年度岡山県倉敷市編を受講)

①福島県 福島市編

ねらい ●地域のお宝発表会による、日常の支え合いの伝え方

■ 仙台会場① 10月8日(火) 福島県福島市

仙都会館

人口286,787人、高齢化率31.3% (2019年4月1日時点)

2016(平成28)年度から、順次、地域包括支援センターに第2層生活支援コーディネーター(呼称は「地域支え合い推進員」)の配置を進め、2018(平成30)年度には、市内22カ所すべてのセンターに推進員が配置されました。

第1層の協議会の事務局を担う市健康福祉部長寿福祉課は、推進員の養成や活動をバックアップするため、市独自の養成研修体系を整えたほか、センターへのアドバイザー派遣などを行っています。

現在、養成研修を推進員と一緒に受講した地域住民とともに、それぞれの地域特性を生かした協議体(呼称は「地域協議会」)の立ち上げが進められています。

2019年2月、市民約300人が参加した地域のお宝発表会では、推進員の日常活動や研修会などで発見された地域の支え合い事例を紹介し、参加者に大きな共感を得ました。今年度は、22カ所に配置された地域支え合い推進員や協議会のメンバーなどによって、さらに日常の支え合いの見える化が進められます。

講師

折腹 実己子氏

仙台市地域包括支援センター連絡協議会 会長

大坂 純氏

池田 昌弘氏

福島市の実践者の登壇も予定しています

研修時間・定員

9:30~16:30 定員60人

②鹿児島県 肝付町編

ねらい ●住民主体の「地域の拠点」づくりと、その活動支援のあり方

■ 仙台会場② 11月8日(金) 鹿児島県肝付町

エスポールみやぎ

人口15,284人、高齢化率40.7% (2019年4月1日時点)

肝付町は県東南部の大隅半島に位置。2005年7月に旧高山町と旧内之浦町の合併で誕生しました。長い海岸線を持つ旧内之浦町地区は、JAXAのロケット発射場があることでも知られます。町域は10地区、6小学校区、5中学校区にわけられますが、生活支援体制整備では小学校区を日常生活圏域(第2層)と設定。これまでに3つの小学校区で空き家を活用した住民主体の地域活動拠点が確保され、サロンや配食、見守り、ボランティアグループの組織化などが行われています。生活支援コーディネーターは第1層に3人、第2層は段階的に配置し現在2人、将来的には6人とし、第1、2層で計9人とする計画です。第1層の3人は町社会福祉協議会、町地域包括支援センター(役場内)、町シルバー人材センターにそれぞれ所属。第2層コーディネーターは各地区の住民から選任され、地域活動拠点に活動の軸足を置きます。拠点が未設置の地区では、今後その確保がコーディネーターの選任と並行して進められる見通しです。

講師

高橋 誠一氏

池田 昌弘氏

肝付町の実践者の登壇も予定しています

研修時間・定員

9:30~16:30 定員60人



③女川町編

ねらい ●地域のお宝を生かす協議体のあり方

■ 女川会場 1月24日(金) 女川町

女川町生涯学習センター

人口6,466人、高齢化率38.7% (2019年4月1日時点)

制度上は町全域(第1層)を日常生活圏としています。実際の運用では第1層に加え、隣り合う複数行政区で構成する第2層、単位行政区(計33区)の第3層という3つの圏域区分を採用。町社会福祉協議会による生活支援コーディネーターの配置や、協議体の設置もこの区分に準じます。生活支援コーディネーターの業務は、第1層は町社協の地域福祉係職員2人が兼任で担当。第2、3層は同僚の職員2人が専任で担当しています。主軸となる専任2人を第2、3層担当としたのは、行政区を地域づくりの基礎単位と位置付け、重視しているためです。いわゆる「地域のお宝」を掘り起こし、情報紙や発表会などで「見える化」。協議体でもその情報やお宝の価値についての認識の共有に務め、お宝を生かす地域づくりの姿勢を鮮明にしています。協議体は第1~3層のすべてで構成員を固定せず、話し合いのテーマなどに応じて自由に変えられるようにしています。

講師

大坂 純氏

高橋 誠一氏

志水 田鶴子氏

池田 昌弘氏

女川町の実践者の登壇も予定しています

研修時間・定員

9:30~16:30 定員60人



<受講対象者限定>

この事業は、生活支援コーディネーターだけではなく、市町村担当者の理解とともにケアマネジメント等にも生かされてこそ發展します。そこで、市町村担当者、地域包括支援センター職員、介護支援専門員向けの研修を行います。さらに今年度は生活支援コーディネーター業務経験2年以上の方を対象とした研修も開催します。

受講要件

- 対象者限定1 生活支援体制整備の市町村担当者
- 対象者限定2 地域包括支援センター職員、介護支援専門員
- 対象者限定3 生活支援コーディネーター業務経験2年以上の方



【対象者限定1】生活支援体制整備事業に関わる自治体職員研修

半日研修

宮城県の生活支援体制整備事業の進め方や、地域支え合い・生活支援推進連絡会議事務局の体制について理解し、各自自治体の役割や支援体制と、今後どのように事業を展開していくかを考えます。

■ 仙台会場 6月14日(金)

TKPガーデンシティ
PREMIUM
仙台西口

講師

大坂 純氏
高橋 誠一氏
志水 田鶴子氏
池田 昌弘氏

研修時間・定員

13:00~16:30
定員60人

【対象者限定2】地域包括支援センター職員と介護支援専門員研修

生活支援体制整備事業を生かしたケアマネジメント

生活支援体制整備事業に関する理解を深め、ケアマネジメントの実践に生かすための知識を習得する。また、ケアマネジャーなどの地域包括支援センター職員と生活支援コーディネーターが行う支援や地域ケア会議と協議体を生かしたケアマネジメントを学びます。

■ 仙台会場 8月20日(火) 仙都會館

講師

折腹 実己子氏
仙台市地域包括支援センター連絡協議会 会長
大坂 純氏
高橋 誠一氏
志水 田鶴子氏
池田 昌弘氏

研修時間・定員

9:30~16:30 定員60人

1日研修

NEW!

【対象者限定3】

生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)研修

生活支援コーディネーターフォローアップ研修

1日研修

生活支援コーディネーターの経験を積んだ方を対象とし、今後の展望も含めたフォローアップを行います。つながりを切らない支援を行うために持つべき視点や、日々の実践へのヒントを伝えます。他市町村の生活支援体制整備事業の進捗状況も知ることができ、生活支援コーディネーターのネットワークづくりにも役立ちます。

■ 仙台会場 9月27日(金)

エスポールみやぎ

講師

大坂 純氏
高橋 誠一氏
志水 田鶴子氏
池田 昌弘氏

研修時間・定員

9:30~16:30 定員60人

これからの地域づくりのポイント

発想の大転換

ーサービスづくりではなく
地域づくりへー

画一的なサービス整備から、
多様な地域づくりへという
発想の大転換が
地域を元気にします



社会参加による 介護予防へ

社会参加による
介護予防へと
考え方を転換しましょう



メンバーをお客さんにしない「協議体」づくりを

地域で暮らす
多様な人びとが協議できる場です

社会資源は 開発より 発見

暮らしの中にある
支え合いを見つけ、
つないでいくことが重要です



生活支援コーディネーターは 後ろ盾があってこそ 生きる

みんなとつながる
みんなをつなげる
コーディネーターを目指しましょう



宮城県では地域包括ケアの実現に向けて、2015年10月に県域の協議体とも呼べる「宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議」を設立し、地域の支え合いや生活支援の充実に向けた市町村の取り組みを支援しています。

